

バレエシャンプルウエスト第80回定期公演「Tatyana (タチヤーナ)」
2017年10月7日(土) オリμπスホール八王子 17:00開演(16:15開場)

川口ゆり子 (タチヤーナ)

逸見智彦 (オネーギン)

吉本真由美

松村里沙

橋本尚美

深沢祥子

山田美友

吉本泰久

正木 亮

染谷野委

土方一生

John H Reid

Татьяна

2017. 10. 7 (sat.) 16:15 open 17:00 start

Olympus Hall Hachioji

Ballet Chambre Ouest

主催：(株) B. シャンプルウエスト 後援：フェアリークラブ 協力：清里・萌木の村、シルクレイズ
提携：(公財) 八王子市学園都市文化ふれあい財団 協賛：ハリウッドビューティー専門学校、チャコット株式会社
お問合せ：バレエシャンプルウエスト公演事務局 〒192-0902 東京都八王子市上野町104-16 Tel：042-624-4037 Fax：042-624-4027 www.chambreouest.com

文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)



タチヤーナ

2017. 10. 7(sat.)

Ballet Chambreouest
バレエシャンプルウエスト
第80回定期公演「Tatyana」タチヤーナ

【キャスト】

川口ゆり子 (タチヤーナ)、逸見智彦 (オネーギン)
吉本真由美、松村里沙、橋本尚美、深沢祥子、山田美友、
吉本泰久、正木 亮、染谷野委、土方一生、John H Reid

【スタッフ】

演出振付/今村博明、川口ゆり子
選曲/江藤勝己
編曲/福田一雄
音楽監修/荒木伸一郎
美術/ヴァチスラフ・オークネフ
舞台監督/森岡 肇、伴 美代子
照明/成瀬一裕、あかり組
衣裳制作/大井昌子、ヴォズロジジェーニエ社
ステージクラフト/NHK アート、金子光寿
指揮/末廣 誠
演奏/東京ニューシティ管弦楽団
バレエミストレス/東松由香里、佐藤想美、平川有希
企画制作/鈴木 功



Olympus Hall Hachioji

▶公演日 2017年10月7日(土) 17:00 開演 (16:15 開場)

▶会場

オリンパスホール八王子

JR 八王子駅南口直隣接

〒192-0904 東京都八王子市市安町 4-7-1

サザンスカイタワー4階

*オリンパスホール八王子専用駐車場はございません。有料駐車場または近隣の有料駐車場をご利用ください。

オリンパスホール八王子ご利用での駐車場サービスはございませんので予めご了承ください。(車椅子でのご来場の方は除く)

▶料金

SS席:10,000円 S席:8,000円 A席:5,000円

《前売り開始日》

フェアリークラブ先行予約:7月7日(金)

一般発売日:7月14日(金) 10:00am

*3歳未満のお子様のご同伴はご遠慮ください。また、3歳以上のお子様も1人1枚チケットをお求めください。

*演出上の都合により、開演時間に遅れますとお席へのご案内が出来ない場合がございます。予めご了承ください。

*車椅子席もございます。車椅子をご利用のお客様は、バレエ団事務局までお問い合わせください。

*壁際、2階バルコニーの一部のお座席は舞台が見えにくい場合がございます。

*公演中止の場合を除き、チケット変更及び払い戻しは致しません。

▶販売窓口

バレエシャンプルウエスト公演事務局 tel. 042-624-4037

チケットぴあ tel. 0570-02-9999

オリンパスホール八王子 tel. 042-655-0809

いちょうホール tel. 042-621-3001

南大沢文化会館 tel. 042-679-2202

学園都市センター tel. 042-646-5611

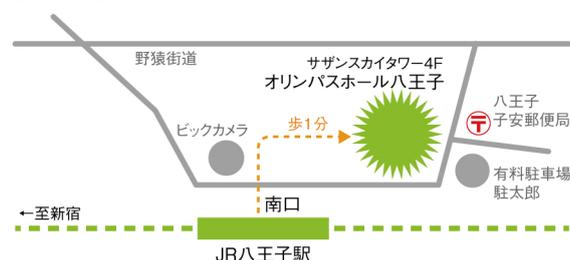
▶お問合せ

バレエシャンプルウエスト公演事務局

〒192-0902 東京都八王子市上野町 104-16

tel. 042-624-4037 fax. 042-624-4027

《会場地図》



www.chambreouest.com



総監督 今村博明



タチヤーナ 川口ゆり子



オネーギン 逸見智彦



オリガ 吉本真由美



レンスキー 吉本泰久



グレーミン 正木亮



松村里沙



橋本尚美



深沢祥子



山田美友



斉藤菜々美



染谷野委



土方一生



John H Reid

文化庁芸術祭大賞受賞作品

平成14年度文化庁芸術祭で大賞受賞に輝いた「タチヤーナ」はロシアの文豪プーシキンの名作「エヴゲーニ・オネーギン」をバレエ化した、バレエシャンプルウエストのオリジナル作品です。2004年建都300周年を祝う Санкт-Петербург の催しに参加し、 Санкт-Петербург、モスクワ、キエフの3都市で8回に渡る公演を行い「オネーギンのテーマを的確にバレエ化し選曲も素晴らしい」「オペラの本質をよく掴みバレエ化に成功している」など各地で高い評価を得、沢山の観客を魅了しました。3幕9場に及ぶドラマチックな舞台にご期待ください。



Story

【第1幕】19世紀のロシア。虚飾に満ちた社交界にも生きる事にも嫌気がさしていたペテルブルグの青年貴族オネーギンは、伯父の死で田舎の領地を相続する。早速知り合った隣の領主レンスキーに誘われて、ラーリン家を訪ねレンスキーの恋人である開放的で陽気なオリガと、内気で繊細な文学少女の姉タチヤーナを紹介される。オネーギンの都会的な雰囲気、まだ本当の恋を知らないタチヤーナは一目で惹かれてしまい、彼女はオネーギンに1通の手紙を書いた。しかしそれに対するオネーギンの返事は、自分は結婚できる相手ではないと冷ややかなものであった。

【第2幕】3か月程過ぎて、ラーリン家ではタチヤーナの名の日「1月12日」のお祝いの舞踏会が開かれている。流行おくれのドレスに着飾った近隣のお客たちが集まり、オネーギンも招かれる。田舎の舞踏会に退屈なオネーギンはオリガを踊りに誘い、オリガはレンスキーを相手にしないでオネーギンとばかり踊っている。レンスキーはオネーギンがオリガを独占していることに嫉妬と怒りを抑えることが出来ず、ついに口論となり、決闘への申し込みへと発展する。翌朝早く決闘が始まり、オネーギンの一発でレンスキーはあっけなく死んでしまう。

【第3幕】親友を殺したことに心を痛めたオネーギンは外国での放浪生活を終えて、久しぶりに首都ペテルブルグに帰ってくる。招かれて旧知のグレーミン公爵のパーティーで、一際美しいグレーミン夫人がかつてのタチヤーナである事を知ったオネーギンは彼女の変身に驚きその洗練された姿に今度は彼の方が恋に落ちてしまう。オネーギンはタチヤーナに手紙を書き愛を訴える。その熱い言葉にタチヤーナは今でもオネーギンを愛していると動揺するが、既に結婚をした身であるタチヤーナは夫グレーミン公爵に貞節を守ると宣言してオネーギンの愛を拒むのであった。



習慣は天からの授かりもの。
それは幸福に変わるもの。